



令和7年度 特別号
京都市立御室小学校
校長 若本 好白

前期 学校・家庭生活アンケート結果のお知らせ

御室小学校

学校教育目標

「しなやかに
目指す子ども像

がんばる
やさしい子

御室っ子」
がんばる子

元気な子



秋冷の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃は本校教育推進のためにご理解・ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。保護者・地域の皆様にはお忙しい中、1学期末に「令和7年度前期学校・家庭生活アンケート」にご協力いただき、ありがとうございました。その集計結果と考察を報告させていただきます。

<「確かな学力」の育成に向けて>

児童アンケート	できている	おおむねできている	あまりできていない	できていない
自分は授業がわかる	45.4%	44.4%	8.9%	1.3%
自分から進んでやる気を出して勉強できている	53.6%	36.5%	6.6%	3.3%
授業中進んで発表していますか	33.3%	28.9%	23.7%	14.1%

「自分は授業がわかる」の項目について、「できている」「おおむねできている」と答えている児童が、89.8%で、ほとんどの児童には、手ごたえを感じる授業となっているようです。それは、各授業において、達成すべきめあてを提示したり、学習のまとめや振り返りをしたりするなど、日々の学習の積み重ねが成果として表れていると思われる。しかし、「あまりできていない」「できていない」の項目では、10.2%の児童が達成感を感じにくい授業となったりしている課題が残ります。今後、児童の困りをとらえ、さらにそれぞれに合った適切な学習支援をし、わかる喜び、できたという達成感を高めていくような授業を進めていきます。



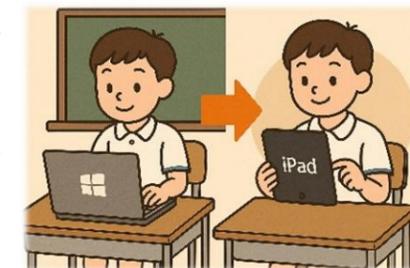
次に、「自分から進んでやる気を出して勉強できている」の項目については、「できている」「おおむねできている」と答えている児童が約 90.1%となり、頑張っている様子が伺えます。今後も、意欲的に取り組める児童を増やしていけるように、児童が学習問題を見つけたり、学習方法を選択したりするなど、主体的に学習に取り組めるようにしていきたいです。

「授業中進んで発表していますか」の項目では 23.7%の児童が「あまりできていない」と回答しています。児童の特徴として、授業はわかるけれど進んで発表することが苦手ということがわかります。改善していくために、グループでの意見交流の場を増やし自分の思いを伝えていくことや友達の意見に対してさらに交流を深めるなど、一問一答ではなく、対話を重視した授業を進めていきます。そうすることで、自分の思いを伝えるよさに気づくようにしていきたいです。

<「確かな学力」の育成に向けて> ~GIGA端末の活用~

児童アンケート	できている	おおむねできている	あまりできていない	できていない
GIGA 端末(タブレット端末)の使い方がわかる	68.2%	25.5%	5.6%	0.7%

ICT機器(タブレット端末)を活用した学習に、ほとんどの児童が使い方がわかると答えています。これからの授業のあり方は、従来のアナログのよさとデジタルのよさを取り入れたものをミックスして、今まで以上に学習効果が表れるよう工夫していく必要があります。



また、2学期からタブレット端末が変わりました。カメラや音声入力も使いやすくなりました。授業において、より効果的な活用方法を探求し、苦手意識のある児童をなくしていけるようにしていきます。

<「豊かな心」の育成に向けて> ~児童アンケート~

児童アンケート	できている	おおむねできている	あまりできていない	できていない
学校に通うのが楽しい	57.6%	28.2%	8.6%	5.6%
自分には良いところがあると思う	53.6%	33.9%	10.2%	2.3
くつや上ぐつ、スリッパ等をそろえていますか	57.9%	30.9%	6.6%	4.6

「学校が楽しい」と答えた児童は85.8%となり、昨年度から3.2%減少しましたが、多くの児童が楽しいと感じていることは、喜ばしいことです。しかしその一方、「楽しくない」と感じている児童が14.2%います。その原因は学業なのか、友達関係なのか、あるいは別の問題なのか、普段の学校の様子やアンケート等を通じて、児童の様子を一人一人丁寧にみていきます。また保護者の皆様からのご意見に耳を傾け、児童に適切な声かけや支援を考え取り組んでいきます。



続いて、「自分には良いところがある」と答えた児童が、87.5%と昨年度から約10%増えていることは喜ばしい結果です。ご家庭でも子ども達の良いところについて、その良さを実感できるような声かけ等していただいている表れであると考えます。それに伴い、「あまりない」「ない」と答えた児童は、昨年度より8.5%減少しました。今後も自分の良いところ、得意なところなどを見つけられたり、感じられたりする教育活動を継続し、自己肯定感を高める取り組みを進めます。

「くつや上ぐつ、スリッパ等をそろえていますか」の項目については、「できている」「おおむねできている」と答えた児童は88.8%でした。「あまりできていない」「できていない」と答えた児童は、11.2%でした。「当たり前のことを当たり前にする」「次に使う人(相手意識)を思って行動する」ということをこれからも指導していきます。見かけたらほめているのですが、誰も見ていないところで散らかったトイレのスリッパを揃えている児童もいます。素晴らしいです。

今後も自分を好きになり、相手意識を持って行動する児童を育てていく中で、豊かな心が育まれていくことを期待しています。

<「豊かな心」の育成に向けて>

～現在何冊の本を読んでいますか～(7月時点の冊数)

100冊以上	70～99冊	40～69冊	20～39冊	1～19冊
9%	8%	18%	32%	33%

読書をすることで、想像力や表現力、感情の理解や共感力の育成、論理的な思考力や集中力の向上などを育むのに役立つと言われてます。また、語彙力を鍛えることで相手への伝え方も変わり、「心が以前より穏やかになった」ということもあるそうです。京都市では100冊読書の取り組みをしています。7月の調査で1年の1/3が過ぎた時点ということを見ると、この時点では33冊くらい読んでいるといいペースだと考えられます。

朝読書の時間、お話の会の図書ボランティアの皆様による読み聞かせなど、子どもたちはその時間に集中しています。引き続き、読書に親しむ環境づくりをしていき、豊かな子どもの育成に努めます。



<「豊かな心」の育成に向けて>～児童・保護者・地域・教職員アンケート～

児童・保護者・地域・教職員アンケート	できている	おおむねできている	あまりできていない	できていない
【児童】自分から進んで挨拶をしている	51.6%	34.6%	9.5%	4.3%
【保護者】自分から進んで挨拶できている	27.7%	45.4%	23.8%	3.1%
【地域】自分から進んで挨拶できている	16.8%	41.6%	41.6%	0%
【教職員】挨拶できるように取り組んでいる	38.9%	61.1%	0.0%	0.0%

この結果から、「自分から進んで挨拶できている」ということが、児童、保護者、地域の皆様とで認識のずれがあるということが見えてきます。学校内では挨拶できている、けれども、家族・地域の人には積極的に挨拶することができないのか、あるいは、挨拶はしているが声が小さい、もしくは、相手の目を見ていないのかなど、相手に届く気持ちの良い挨拶ということに課題があるのかもしれません。地域の方からは、『子ども達からの「おはようございます」の声と手振りで1日が始まります』という嬉しくなる声がある一方、『私から声かけをするがあまり返ってこない』という意見もいただきました。今後、校内外関わらず、気持ちの良い挨拶ができるよう指導を重ねていきます。



<「健やかな体」の育成に向けて>

児童アンケート	できている	おおむねできている	あまりできていない	できていない
8時間以上、睡眠をとっている	57.6%	26.3%	12.2%	3.9%
外遊びやスポーツなどで毎日体を動かしている	57.9%	23%	14.5%	4.6%
テレビを見る時間やゲームをする時間を決めて守っている	44.4%	30.9%	14.5%	10.2%

「8時間以上、睡眠をとっている」の項目では、「よくできている」「できている」を合わせて、83.9%です。「外遊びやスポーツなどで毎日体を動かしている」では、80.9%。「テレビを見る時間やゲームをする時間を決めて守っている」は、75.3%となっています。高学年になるにつれ、習い事が多くなり、習い事の時間帯が遅くなるなど、放課後の過ごし方が忙しくなる傾向がみられます。さらに、テレビ、ゲーム、動画などを視聴して、夜遅くなっていることも一因かもしれません。

そんな中でも、十分な睡眠時間を取っているということから、ご家庭でもご協力いただいていることがわかります。しっかり睡眠をとることで、集中して学習に取り組むことができたり、イライラすることなく、気持ちよく元気に過ごしたりすることができます。朝から、スッキリした気持ちや頭で、元気に学校生活をスタートできるように、これからもご家庭での睡眠時間の確保にご協力をよろしくお願いいたします。

保護者アンケート	できている	おおむねできている	あまりできていない	できていない
家庭では、8時間以上睡眠をとれるようにしている	58.2%	35.1%	6.7%	0%
子どもたちは、放課後に外遊びやスポーツなど、体を動かす時間がある	36.9%	34%	24.1%	5%
家庭では、テレビを見る時間やゲームをする時間を決めて守らせている	22.4%	42.9%	29.4%	5.3%



保護者アンケートからは、「家庭では、テレビを見る時間やゲームをする時間を決めて守らせている」の「できている」「おおむねできている」が65.3%と、児童の回答からは10%も下回っています。「時間を決めて守らせたいが、なかなか思うようにはいかない」というご家庭のご事情や日々、試行錯誤しながら過ごされている様子がうかがえます。

ただ、児童はできていると思っている割合が高いので、今一度ルールの確認のため、ご家庭で話し合われる時間をもつていただきますようお願いいたします。

また近年、スマホ依存の害も報道で話題になっています。視力・記憶力の低下、睡眠の質の低下やコミュニケーション能力の低下など、便利なものでも使い方で、害を及ぼすこともあります。学校では、ネット依存の危険性や情報モラルなども含めて、ルールを守り楽しく安全に使用できるように指導しています。これからも、メリハリをつけた毎日を過ごし、健やかな心身を育てていけるように、ご家庭でも声かけ等のご協力をよろしくお願いいたします。



お忙しい中、アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。今後も子どもたちが安心して過ごせるように教育活動を進めていきます。引き続き、御室小学校の教育活動にご理解・ご協力をいただきますようお願いいたします。